

株式会社 Jmees(ジェイミーズ)

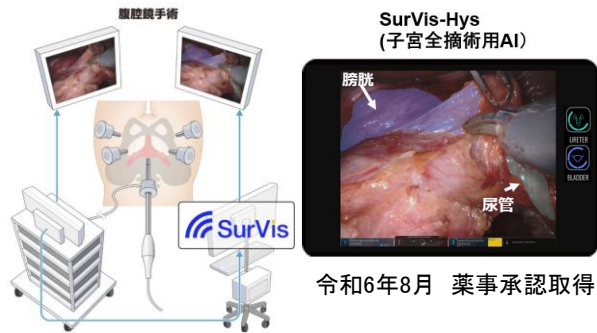
1. 会社状況

(本社)所在地	千葉県柏市柏の葉5-4-6			代表者名	松崎 博貴	
電話/FAX番号	04-7157-2264	URL	https://www.jmees-inc.com/			
設立年月	令和元年10月	資本金(百万円)	10百万円			
売上高(百万円)	非公開	従業員(名)	16名			
事業内容	AIを用いた手術支援システム開発事業					
主要製品	AI手術支援システム (SurVis)					
東葛テクノプラザ 連絡先	役職名	代表取締役	氏名	松崎 博貴	電話番号	04-7157-2264
	E-mail	hiroki.matsuzaki@jmees-inc.com		入居室	511、509、5075	

2. 東葛テクノプラザにおける研究・事業開発概要

AI手術支援システムの開発

外科手術中における他臓器損傷は、患者 QOL(quality of life) 低下や医療コストの大幅な増大をもたらす。
最も大きな要因は、解剖構造の確認不足や誤認が挙げられ、経験症例が少ない執刀医による手術では熟練医よりもリスクが増加するという報告がある。
そこで私たちは、見えにくい解剖構造や経験を積んだ外科医でしか認識困難な解剖構造を可視化し、執刀医をサポートすることで術中偶発症を防ぎ、手術現場に安全な医療をもたらすものである。



3. コア技術(保有技術等)

特許取得済みのコア技術

器官領域推定モデルによって推定された手術中に損傷する確率の高い器官の位置及び範囲を示す情報を、内視鏡により撮像された画像に重畳して表示する手術支援システム
特許第7148193号



国立がん研究センター認定ベンチャー



- ・AIモデルの研究開発
- ・収集データへのアノテーション
- ・製品化のための品質管理と薬事業務



国立がん研究センター
National Cancer Center Japan



昭和医科大学病院

- ・手術動画の収集とデータベース構築
- ・臨床的妥当性/有用性のフィードバック
- ・薬事業務や臨床試験に関するサポート

4. 事業展開

他術式への横展開

婦人科の手術で初めて医療機器の承認を取得し、現在は泌尿器科、大腸外科、食道外科といった他の領域の手術でも製品をリリースすることで、AI手術支援システムのプラットフォームを横展開していく。

臨床エビデンスの創出

薬事申請の際に行ったAIの性能評価試験では、手術動画を用いて、AI使用の有無で医師の臓器認識の感度が優位に上昇することを示したが、実際に患者ベネフィットを証明することが最も重要であるため、市販後臨床研究により、AIを用いることによる臨床価値を評価する。

海外展開

手術中の損傷事故のニーズは海外でも普遍的なニーズであり、むしろ日本では技術レベルの高い丁寧な手術で事故が諸外国と比べても低い傾向がある。本製品の海外展開を米国を中心に行う計画。

更なる製品力強化に向けた取り組み

手術中にまだ露出していない状態の見えない臓器もAIにより予測する技術や、リスクを検知する技術の開発、将来的にはロボット手術との連携に向けたAIに求められる要素技術開発を行う。

特記事項

【認定・受賞】

AAGL2023(米国婦人科内視鏡学会)にてBest Research Abstract賞を受賞。
MICCAI2024の画像認識コンペティションにて1位獲得。